

益田孝（ヨシダタク） 賽業家。嘉永元年十一月廿八日近渡國生れ、昭和二十二年十一月十八日歿（令和八十九年）。幼名徳之進、進。號無佛、觀濤、觀

濤生、鈍翁、雲外、雲外山人等。彷彿奉行屬役の長男。文久二年幕府使節の隨行渡仏。明治七年井上馨と先取會社創立、九年改組。二井物産會社社長、のち一二井合名會社社運導長。大正七年剪鬚。茶人、美術品蒐集家として著名。

著書『益田孝總語』（昭和十二年六月）二十日、改訂遺稿版・十一月一日（總文會）等。

文献、白瀧秀雄著『鈍翁・益田孝』全二冊（上巻、下巻・昭和五十六年八月）、十五日新報社）、長井葉緑『白瀧益田孝翁伝』（昭和八十年一月廿四日共々文藝社「古今文庫」）等。

